

令和2年度上半期 財政の状況

2年度上半期(令和2年4月1日～9月30日)の歳入・歳出予算の執行状況などをお知らせします。
市の会計は、一般会計、特別会計、企業会計に分かれています。数値はすべて2年9月30日現在のものです。

一般会計

一般会計は、市税を主な財源とし、福祉、教育、小・中学校や公共施設の維持・管理、道路整備、ごみ処理など、行政を運営する経費の大部分を賄う会計です。

◎積立基金(貯金)、市債(借金)、市有財産
積立基金(貯金)は表1、市債(借金)は表2、市有財産は表3のとおりです。

2年度の予算現額(年度当初の予算額に修正予算額などを加減したものは58億776万円)です。執行状況は図1のとおり、歳入では収入率が56.2%、歳出では執行率が47.7%です。

◎市税負担、市民サービスなど
市民の皆さんが納めた市税や固定資産税などの市税負担額、市民サービス費用(※)、貯金(借金)の1人当たり・1世帯当たりの金額は、図3のとおりです。

表1 積立基金(貯金)

	現在高
一般会計	51億4060万円
特定目的基金	70億2431万円
特別会計	15億3822万円
合計	137億313万円

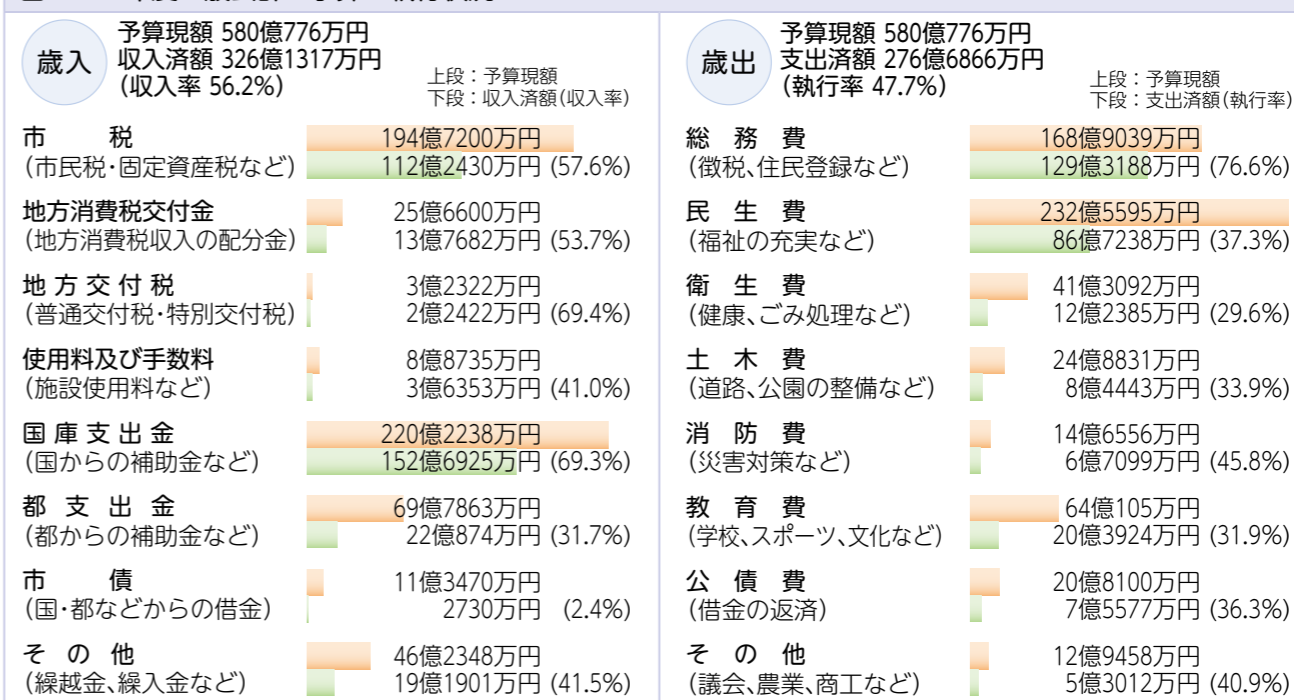
※財政調整基金=財源の不足に備えるための基金(家計でいう貯金など)
※特定目的基金=公共施設整備など特定の目的のための基金(家計でいう住宅購入資金積立など)

表2 市債(借金)

	現在高(元金の残高)
建設事業債	85億1048万円
災害復旧債	4800万円
赤字地方債	103億4930万円
合計	189億778万円

※建設事業債=学校、道路、公園などの公共施設の整備・改修のための借入金
※災害復旧債=自然災害で被災した公共施設の復旧のための借入金
※赤字地方債=財源の不足を補うための借入金

図1 2年度一般会計 予算の執行状況



※いずれも予算現額に、前年度からの繰越財源(1億6096万円)を含みます。

図2 市有財産

土地	58万9672㎡ (学校・公園ほか)
建物	22万7167㎡ (学校・庁舎ほか)
出資による権利	1億2294万円 (昭島市育英会ほか)

図3 市民1人当たり・1世帯当たりの市税負担額、市民サービス費用、貯金、借金

市税収入額	9万8815円	市税負担額	20万4323円
一般会計の支出額	24万3586円	市民サービス費用	50万3671円
積立基金現在高	12万638円	貯金	24万9447円
市債現在高	16万6458円	借金	34万4191円

※2年9月30日現在の人口は11万3589人、世帯数は5万4934世帯です。

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に、その運営や経理を明確にするため、一般会計から分離して収支を管理している会計です。各会計の予算現額と歳入・歳出予算の執行状況は、表3のとおりです。

企業会計

水道事業・下水道事業は、複式簿記※による公営企業会計で収支を管理しています。経営状況は、表4～6のとおりです。

表3 2年度特別会計 予算の執行状況

会計名	予算現額	収入済額(収入率)	支出済額(執行率)
国民健康保険	120億8987万円	41億3189万円(34.2%)	40億407万円(33.1%)
介護保険	94億5681万円	37億3100万円(39.5%)	38億1860万円(40.4%)
後期高齢者医療	25億6088万円	10億3442万円(40.4%)	8億3986万円(32.8%)
中神土地区画整理事業	3億1238万円	1億356万円(33.2%)	5823万円(18.6%)
合計	244億1994万円	90億87万円(36.9%)	87億2076万円(35.7%)

表4 水道事業・下水道事業の利用人口と有収水量

	2年度	元年度	前年度比
水道事業	給水人口	11万3588人	11万3346人 242人(0.2%増)
	給水世帯	5万4933世帯	5万4222世帯 711世帯(1.3%増)
	有収水量	619万4411㎡	615万5082㎡ 3万9329㎡(0.6%増)
下水道事業	接続人口	11万2827人	
	接続世帯	5万4571世帯	
	有収水量	549万3535㎡	

※有収水量とは、料金徴収の対象となる水量のことです。

表5 企業債(借入金)の現在高

	2年9月末	元年9月末	前年度比
水道事業	現在高(元金)	1451万円	3249万円 △1798万円(44.7%減)
	給水人口1人当たり	128円	287円 △159円(44.6%減)
下水道事業	現在高(元金)	44億6979万円	
	接続人口1人当たり	3万9616円	

※企業債とは、施設の建設や改良のために借り入れるお金のことです。

表6 経理の状況(消費税抜き)

	収益的収支		資本的収支	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	*営業収益 8億1432万円 水道料金による給水の収益など *営業外収益 1981万円 預金利息、下水道使用料受託徴収収益など	*営業費用 2億7105万円 原水及び浄水費、配水及び給水費、設備修繕費、減価償却費など *営業外費用 108万円 企業債の借り入れ利息など	合計 8億3413万円	合計 2億7213万円
下水道事業	*営業収益 7億7468万円 下水道使用料、雨水処理負担金など *営業外収益 898万円 預金利息、一般会計補助金など	*営業費用 2億3623万円 下水道管などの維持費、汚水処理負担金、減価償却費など *営業外費用 2701万円 企業債の借り入れ利息など *特別損失 2042万円 企業会計への移行のための引当金など	*他会計補助金 2300万円 一般会計補助金など *負担金など 339万円 受益者負担金など	*建設改良費 8185万円 下水道を安定して使用するための工事(長寿命化、耐震化)などの費用 *企業債償還金 2億7425万円 企業債の元金
	合計 7億8366万円	合計 2億8366万円	合計 2639万円	合計 3億5610万円

※収益的収支とは、水道料金・下水道使用料による収入や、水道・下水道の安全な利用に必要な経費のことです。

※資本的収支とは、施設の改良・設置のために必要な経費のことです。